

TOMATEC トップコートのご使用方法

準備

- 1, トップコートは保管中に多少なりとも顔料分、ノンスリップ材等の沈降、樹脂分の分離がありますので、使用前によく攪拌して下さい。
- 2, 塗布する面の水分、油、埃等を完全に除去して下さい。

硬化剤の添加

- 1, トップコートは主に 2 液型です。従って、硬化剤[MEKPO(55%)]の添加だけで塗布することができます。
- 2, 硬化剤の添加量は、気温 25℃の時 1%が標準です。
添加量の幅は気温の変化により、0.8~2.0%で使用して下さい。
作業条件（気温、塗布面の温度）に応じて、硬化剤の適正添加量を決めて下さい。
- 3, 標準塗布量は、300~400g/m²として塗布量を計算し、必要量のトップコートを別の容器に移し、計算量の硬化剤を正確に計算してこれに加え充分に混合攪拌します。

塗布

塗布は、ローラー、刷毛、スプレー等により行って下さい。

塗布厚みは、0.3~0.5 mmが適当です。

粘度を調整したい時

粘度を下げたい場合には、スチレンモノマーを添加し調整して下さい。

添加量は最大で 5%迄として下さい。

使用上の注意事項

- 1, トップコートは、サンディング面やノンパラフィン樹脂による積層面には強い接着力を持ちますが、離型面、ゲルコート面、パラフィン入り樹脂による積層面や、水、油、埃等の残っている面は接着力が弱まり、剥離の原因になります。その様な面に塗布する場合は、必ず粗めのサンディングを行い清掃してから塗布して下さい。
- 2, 塗布厚みは 0.3~0.5 mmです。極端に厚過ぎるとクラックが発生する場合があります。また、薄過ぎると未硬化となり幾ら養生させても完全硬化しません。
- 3, トップコート表面にパラフィン膜が形成されずに硬化しますと、見掛けは硬化した様に見えますが実際には、表面は硬化ではなく乾燥であり幾ら時間が経過しても完全硬化しません。この場合水分との接触により表面が白化しますので次の点に注意して下さい。
 - 3-1) 硬化剤量は[MEKPO(55%)]もので 0.8~2.0%の適正な範囲でご使用下さい。
 - 3-2) 塗布面（下地）の温度が 30℃を超えた時のトップコート塗布は避けるか、まず少量塗布し硬化状態を確認してからご使用下さい。
 - 3-3) 塗布後、形状によってスチレンガスの滞留し易い箇所は、適度な換気を行って下さい。
 - 3-4) 硬化確認は、アセトン脱脂にて、色落ちの無い事を持って硬化完了として下さい。
- 4, トップコート本来の性能を発揮させる為にも、必ず養生期間を設けて下さい。
養生期間の目安（状況により下記以上の期間が必要な場合があります）
春・夏季：1日以上、秋・冬季：2日以上
- 5, トップコートの保管は直射日光を避けて冷暗所に保管願います。
長期在庫されますと使用できない事がありますので、その際は弊社へ連絡下さい。